

第2学年3組音楽科学習指導と評価の案

平成17年6月15日(木) 第3校時(10:40~11:25) 授業者:宮上 真由美(2年3組教室)

1. 題材名 ドレミであそぼう 教材名 「かっこう」
2. 本時の目標 拍の流れを感じ取り、階名唱や身体表現をすることができる。(表現の技能)
3. 本時の評価規準 進んで歌ったり身体表現を楽しんだりすることにより、拍の流れを感じ取って階名唱しようとする。
4. 子どもつかみの具体 学ぶ意欲: 身体表現が大好きで、積極的に取り組むが、音高感と一致することが十分でない。
 学ぶ力: 仲間と繰り返し練習するなど、よりよい表現を目指して学習できる。
 学びえた力: 4拍子の曲には親しんでいるが、3拍子の感覚が十分でない。

5. 本時の展開(7/ 14 時)

| 過程 | 主 な 学 習 活 動 | 研究テーマの具現のための手立て |
|--|--|---|
| つ か む / ふ か め る / た し か め る | <p>1. レパートリー演奏 ○課題につながるレパートリー演奏をする。 「にんげんていしな」「かもつれっしや」 ○手拍子をしながら、「かっこう」を歌う。</p> <p>2. 課題つかみ ○前時の録音を聴き、手拍子が拍とずれることに気づかせる。 ・1・2・3にきちんとなくなっている。(拍) ・階名唱と手拍子が合っていない。(身体表現)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題 手や足でたのしくあそびながら、3びょうしのリズムにのってうたおう。</p> </div> <p>3. 前半練習 ○二つのグループで演奏する側、聴く側を決め、アドバイスし合いながら拍を感じ取った歌い方になるよう、練習する。 ・一人が手拍子を正しく打ちながらやってみよう。 ・1小節ごとのまとまりを感じ取って、体を揺らしながらやってみよう。 ・丸くなってみんなの顔を見ながらやってみよう。 ・息の吸い方を合わせてみよう。 ・休符を正しい長さでしっかりとろう。 ○他のグループにも聴いてもらい自信をつける。</p> <p>4. 中間研究会 ○お互いの発表を聴きあい、良かったところや練習の工夫点を指摘して、交流しあう。 (よかったところ) ・みんなの目と呼吸が合っていた。 ・3拍子を正しく感じていた。 ・みんなが楽しそうにやっていた。 (練習の工夫点) ・演奏する人と聴く人に分けて聴きあっていた。 ・よくなったところを認め合いながら練習していた。</p> <p>5. 後半練習</p> <p>6. 振り返り ・教えてくれたおかげで、上手になれたよ。 ・体を使って歌うと楽しいし、みんなと仲良くなったような気がするよ。</p> <p>7. 教師の評価</p> | <p><課題つかみに対する指導> ・子どもの興味関心を高めるために、よい演奏と悪い演奏を聴き比べさせる。(研究内容4)</p> <p><課題つかみを把握する指導> ・本時の課題がつかめているかどうか、確認をする。(研究内容3)</p> <p><課題つかみの個に応じた指導> ・つかめていない子どもには、聴き比べを繰り返させる。(研究内容4)</p> <p><グループ活動を活性化する指導> ・グループ学習により、励まし認め合いながら、課題に迫ることができるよう、支援する。(研究内容3)</p> <p><個に応じた指導> ・階名唱しながら身体表現をすることが困難な子に対して、 階名唱だけさせる。 身体表現だけさせる。(研究内容2)</p> <p><中間研究会の充実>(研究内容3) ・聴く視点が本時の課題からずれないように配慮する。 <中間研究会での個に応じた指導> ・子どもの気づかない点は、巡視により発言できるように助言する。</p> <p><中間研究会での成果を広げる指導></p> <p><本時の高まりを共有する指導> ・全体の振り返りとともに、個人の高まりを見逃さず認める。(研究内容4)</p> |